第2学年 数学科 シラバス



数学科の学習の目標

- ・数量、図形などに関する基礎的な概念や 原理・法則の理解を深める。
- ・数学的な技能を習得する。
- 事象を数学的に考察する力を高める。
- ・ 数学的な活動の楽しさを味わう。

数学科の学習の特色

- ○1年週4時間、2年週3時間、3年週4時間 の授業を行います。
- 〇学習の系統性を大切にし、3年間の学習を 通して、次の点を重点目標としています。
 - 「基礎学力の定着、技能の習熟を図る」 「数学的な見方や考え方のよさを知り、自ら 考え、解決しようとする態度を育てる」

数学の授業の受け方

- 〇毎時間の授業では、<u>教科書、ノート、問題集、</u> 定規等、持ち物を忘れないこと。
- ○授業中、必要なことは<u>ノートにメモをとり</u>、 整理しておくこと。
- ○問題をやる際は、問題文をよく読んで、 まず自分で考えてみること。
- ○他の人の考えから学べることがあります。 授業中に他の人が発表しているときは よく聞くこと。
- ○「なぜそうなるのか」を理解すること。
- 【 予習 】前もって教科書を読んでおくだけでも 授業の内容が分かりやすくなります。
- 【 復習 】 授業のノートを見直しておく。 問題集の問題をくり返し解いてみる。

数学科の評価の観点

◆知識·技能

- ・数量・図形などに関する基礎的な概念や原理・法則 などを理解している。
- ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。



- 数量や図形に関して、基本的な言葉や用語の意味を理解している。
- ・ 定理について、 意味や根拠を理解している。
- ・計算の方法を理解して、正解を導き出すことができる。
- ・図形の性質を使って、求めたい角の大きさや、辺の長さを知ることができる。

◆思考·判断·表現

数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や 図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する 力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に 表現する力を身に付けている。



- ・課題を、数学的に、筋道だてて考えることができる。
- ・課題解決の過程を、自分の言葉や図や式を利用して説明できる。

◆主体的に学習に取り組む態度

数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く 考え、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解 決の過程を振り返って評価・改善しようとしたりして いる。



- ・課題への取り組みの様子
- ・ 授業への参加の様子や学習への姿勢

これら3つの観点を、授業、定期テスト、小テスト、/ート提出、ワーク提出、その他の課題提出で、評価していきます。

2年生		◆学習内容◆	◇学習のねらい◇
1 学期	4月	1章 式の計算 1 式の計算	○多項式の加減、多項式と数の乗除、単項式と単項式の乗除 の計算について学びます。
	5月	2 文字式の利用	〇等式を変形することや、数量の関係や性質を文字式を用いて説明することを学びます。
	6月	2章 連立方程式 1 連立方程式 2 連立方程式の利用	○連立方程式の解き方を学びます。 ○具体的な問題を、連立方程式を利用して解くことを学びます。
2 学期	8月 9月 10月	3章 一次関数 1 一次関数とグラフ 2 一次関数と方程式 3 一次関数の利用	○一次関数の意味やその変化の特徴を学びます。○一次関数の式、表、グラフの特徴と関連を学びます。○二元一次方程式のグラフについて学びます。○問題解決に一次関数の式、表、グラフを活用することを学
	11月	4章 図形の調べ方 1 平行と合同 2 証明	びます。 ○平行線と角の性質や、多角形の内角や外角の和などの図形の特徴を学びます。○三角形の合同条件を学び、それらを活用して図形の性質を証明することを学びます。
	12月	5章 図形の性質と証明 1 三角形	〇二等辺三角形の性質、直角三角形の合同条件を学びます。 〇平行四辺形の性質、平行四辺形になるための条件を学びま
	1月	2 四角形	す。 〇学んだことをいかして、図形の性質を証明することを学びます。
3 学期	2月	6章 場合の数と確率 1 場合の数と確率	〇身の回りにある確率について、樹形図や表に整理し、それ をもとにして求めることを学びます。
	3月	7 章 箱ひげ図とデータ活用 1 箱ひげ図	〇データを箱ひげ図に表すことで、傾向を読み取り、問題を解決する方法について学びます。
年間授業時数 105時間(週3時間)			

数学の家庭学習のすすめ

- ○2年生の数学は、連立方程式、一次関数、図形と、中学校3年間の学習の中で核となる学習を行います。一次関数では「式」「表」「グラフ」の関係に注目。図形の学習では「図形の性質」「証明の書き方」をしっかり学びましょう。
- ○1週間の時間数は3時間と少なくなります。学習量を確保するためにも、家庭学習に力をいれま しょう。



計算問題をくり返し練習しよう。 「できる」という自信が次の問題に 取り組む意欲に変わるよ! 問題集の問題をていねいに解きま しょう。一度しっかり考え、できないとご ろは解答を参考に理解しましょう。